

パブリックコメント提出意見と市の考え方

(江田島市過疎地域自立促進計画書案)

1 実施期間

平成 28 年 1 月 14 日(木)～平成 28 年 2 月 3 日(水)

2 募集方法

- ・市ホームページへ掲載
- ・資料の閲覧貸し出し（企画振興課，市役所本庁 1 階ロビー，江田島支所，大柿支所，沖美支所，三高支所）

3 意見提出件数

2 件

年代・男女別内訳表

	男性	女性	不明	計
20 代				0
30 代				0
40 代	1			1
50 代				0
60 代	1			1
不明				0
計	2	0	0	2

パブリックコメント提出意見と市の考え方

【1 基本的な事項 (1) 江田島市の概況】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	[P7 地域の経済的な立地特性] 「年間約57万人の入込観光客」とあるが、平成25年度で市外観光客37.4万人、市内観光客19万人で総観光客数が56.9万人ではないか。	「平成26年広島県観光客数の動向」(広島県)の入込観光客数の数値に修正しました。(修正後P6) (下線部を修正) 観光面においては、旧海軍兵学校(海上自衛隊第1術科学校)や砲台山森林公園などの歴史遺産を有し、自然環境を生かした温泉施設やキャンプ場などレクリエーション施設の整備が進められていることから、年間約35万人の入込観光客がある。
2	[P10 行財政の状況] 本文に「職員数が減少していく中で」とあるが、「第2次江田島市定員適正化計画」では、現在より平成31年度では15人、平成36年度では28人増の数値目標を設定している。整合が取れていないのではないか。	御意見のとおり、「第2次定員適正化計画」の策定の趣旨に沿った表現に修正しました。(修正後P9) (下線部を修正) 行政組織については、多様化する行政ニーズや限られた人的資源の中で、より効果的・効率的な行政運営が行えるよう、政策課題に柔軟に対応できる組織づくりに取り組むとともに、選択と集中による重点施策に集中して取り組めるよう、組織機構や職員配置の弾力化を図る。

【2 産業の振興】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	[P18 (1) 現況と問題点 ウ 水産業] 本文に、「獲る漁業からつくり育てる漁業に再編」という内容を追記できないか。	本市では、関係機関と連携し、「つくり育てる漁業」を推進しています。御意見を踏まえ、「つくり育てる漁業」を加えた内容に修正しました。(修正P17) (下線部を修正) また、生産基盤の近代化による漁労の軽減や漁場環境の改善、獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を図るとともに、流通体制の整備や漁協組織強化など、漁業者の経営安定化が求められている。 加えて、新規漁業就業者や担い手の確保・育成を推進するとともに、長期的に安定した漁業ができる基盤づくりが求められている。
2	[P20 (1) 現況と問題点 ク 観光又はレクリエーション] 「観光客数」との記載は「総観光客数」ではないか。	用語の定義を「平成26年広島県観光客数の動向」(広島県)に合わせて修正しました。(修正後P19) (下線部を修正) 本市の総観光客数は、平成17年の71万人をピークに減少が続き、平成26年には54万人まで減少している。
3	[P21 (1) 現況と問題点 ケ 港湾の整備] 「民間5社と本市により」とあるが、市営航路(中町・高田～宇品)は指定管理者制度を利用した民間会社への運航委託を開始しており、どう表記するか工夫が必要ではないか。	御意見のとおり、指定管理者制度で運航していることが分かるよう記述を修正しました。(修正後P20) (下線部を修正) ○ 通勤、通学、買物などの公共交通手段として、民間5社(うち1航路は本市の指定管理者)により、広島市、呉市へフェリーや高速艇等で結ばれている。

【2 産業の振興】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)	市の考え方
<p>4 [P21 (2) その対策 ア 農業] 地域資源のなかに、過去に植樹された柑橘類で、現在、収穫していない木々がたくさんある。これを有効活用する対策はできないか。例えば、冷蔵施設に収穫した柑橘を保管し、年間を通してイベント等でジュースを提供するなど。また、市外でのPR活動等にも3FのFruitを積極的にアピールするツールになりえないかの検討をしてはどうか。</p>	<p>御意見のとおり、農産物の地域産品化やブランド化、耕作放棄地対策は重要であると考えています。耕作放棄地の柑橘を冷蔵保管し、イベント時などにジュースとして提供することについては、品質管理(劣化・安定した品質)や安定供給、土地所有者等との調整など問題点が多く、現状においては難しい状況です。</p>
<p>5 [P22 (2) その対策 ウ 水産業] 本文中、「資源管理型漁業」を、「獲る漁業からつくり育てる資源管理型漁業」に修正できないか。</p>	<p>本市では、漁業協同組合等の関係機関と連携し、水産資源の維持・増殖など、「つくり育てる漁業」を推進しています。御意見を踏まえ、記述内容を修正しました。(修正後P21) (下線部を修正) ○ 水産種苗放流などの漁業者参画による栽培漁業推進体制の拡充を図り、<u>獲る漁業からつくり育てる資源管理型漁業を推進する。</u></p>
<p>6 [P22 (2) その対策 ウ 水産業] 本文中、「漁具倉庫」を、「漁具倉庫や漁船係留施設」に修正できないか。</p>	<p>御意見のとおり、漁具倉庫や漁船係留施設などの充実が必要と考えます。計画期間中(平成28~32年度)における漁船係留施設の充実については、その可能性を検討していきます。</p>
<p>7 [P22 (2) その対策 ウ 水産業] 本文に、次の2文を追加できないか。 ○ 県の特産であるカキの種苗が安定的に確保できるよう、採苗技術の向上に努めるとともに、人口採苗についても調査研究を進める。 ○ カキ殻海中一時堆積場の整備を進め、カキの安定生産に資する。</p>	<p>御意見のとおり、近年、カキの種苗確保が不調となり、生産者の経営の安定化が求められています。今後、広島連携中枢都市圏などで関係者が連携し、具体的な取組の可能性を検討していきます。</p> <p>カキ殻一時堆積場の整備については、記述を追加しました。(修正後P21) (下線部を追加) ○ <u>広島県漁業協同組合連合会が実施する広域カキ殻一時堆積場の整備を支援する。</u></p>
<p>8 [P22 (2) その対策 エ 企業誘致] 企業誘致に関する戦略のひとつとして、市内企業と市外企業とをマッチングする場の創出が必要ではないか。</p>	<p>御意見のとおり、市内企業と市外企業とのマッチングは有効な取組の一つと考えます。今後、企業誘致に関する戦略を構築する中で、その可能性を検討していきます。</p>
<p>9 [P22 (2) その対策 ク 観光又はレクリエーション] 交流人口を増やすには観光協会の育成が重要であり、第2次総合計画にある「総観光客数100万人」の目標を達成するため、人的支援も視野に検討が必要では。観光協会内部のことになるが、以前のように事務局長を外部登用することも再開してみてもどうか。</p>	<p>御意見のとおり、外部からの人材登用は有効と考えますので、記述を追加しました。(修正後P22) (下線部を追加) ○ <u>観光協会の育成を図り、積極的に外部から人材登用するなど、官民一体となった事業を展開する。</u></p>

【2 産業の振興】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
10	[P23 (2) その対策 ク 観光又はレクリエーション] 「体験型観光への転換を図り」とあるが、すでに取組(民泊修学旅行、カキ打ち体験モニターツアー等)がなされており、「図る」のではなく「転換を一層推し進め、市外からの集客が見込める事業を創造する」としてはどうか。	御意見のとおり、すでに取組が展開されていることから、記述を修正しました。(修正後P22) (下線部を修正) ○ 本市の豊かな自然環境を生かした体験型観光への転換を <u>一層推進し、市外からの集客が見込める事業を創造する。</u>
11	[P23 (2) その対策 ケ 港湾の整備] 本文に、次の1文を追加できないか。 ○ 特に整備が遅れている三高港については、漁港機能の拡充とともに、その周辺整備と合わせ、早期事業化を図る。	三高港を含めた三高港周辺の整備については、現在、検討中です。 今後、その検討結果を踏まえ、具体的な事業内容や時期等を決定していきます。

【3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	[P30 (3) 計画 (12) その他 体験型修学旅行誘致事業] 事業内容に、「民泊受入家庭の施設改善費の助成」を追記できないか。	民泊受入家庭の施設改善費の助成を行っている自治体があります。 本市においては、民泊家庭のニーズ等に応じて、その可能性を検討していきます。

【5 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	[P38 (1) 現況と問題点 ア 高齢者の保健・医療・福祉] 平成22年の国勢調査による高齢化率は35.8%であるが、直近(平成28年1月1日現在)では41.96%(高齢者10,276人)となっている。約6%上昇しており、これから更に上昇する可能性があることを盛り込んだほうがよいのではないか。 (P51では、平成37年度の予測が記述されており、人口19,900人、高齢化率44%、高齢者8,756人の記載あり)	御意見のとおり、江田島市の将来人口の見込みを明確にするため、記述を追加しました。(修正後P39) (下線部を追加) 平成22年の国勢調査における本市の65歳以上の人口比率は、35.8%で3人に1人が高齢者という超高齢社会を迎えている。 <u>国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成37年には人口は2万人を割り込み(19,900人)、65歳以上の高齢人口の割合は44%に達すると予測されている。</u>

【6 医療の確保】 ※語句整理を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)	市の考え方
<p>1 [P42 (2) その対策] 「子育て世代の経済的負担を軽減」において、本市では乳幼児（0歳～満9歳）の医療費自己負担部分を一部公費負担する制度があるが、乳幼児・児童・生徒医療費助成事業（0歳～18歳）への拡充を検討する時期に来ているのではないか。※P54 定住促進事業では「定住促進交通費補助」の実施が盛り込まれている。</p>	<p>御意見のとおり、乳幼児等医療費助成制度の拡充が必要と考えており、平成28年度からの実施を予定しています。計画案ではP43に以下の内容を記載しています。</p> <p>福祉医療費公費負担事業 <内容> 乳幼児等に係る医療費の一部を助成する。 ・乳幼児等医療費助成制度 <必要性> 少子化が深刻であり、子育て世代の負担を軽減し、子どもが生き生きと健やかに育つための環境づくりが求められている。 <効果> 子育て世代の経済的負担を軽減し、医療を受けやすい環境になる</p>